




# 令和8年度 地域コミュニティ活動支援事業

● 今年度採択された団体は、下記の3団体です。

<p>代表者：藤井紀美子</p>	<p>あさお元気アップ・コミュニティネット</p>
	<p>麻生区およびその近隣地域に暮らす人々が、地域への愛着や安心感を育みながら、誰もが気軽に立ち寄り交流できる居場所を創出することを目的として、オープンなサロンを開催する。</p> <p>サロン開放時には、地域に存在する多様なリソースを活用し、ミニ講座やワークショップを実施するほか、健康長寿の意識向上と予防啓発にも取り組む。</p> <p>また、地域で活動する個人や団体と連携し、サロン利用者と地域コミュニティをつなぐことで、住民同士のつながりを深め、誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりに寄与する。</p> <p>昨年6月より、毎月1回コミュニティサロンを開催してきた。サロンは地域における身近な交流の場として、徐々に認知されつつある。今年度は、これまでの成果を踏まえ、リピーターの定着に注力するとともに、誰もが安心して集い、継続的に地域とつながることができる居場所としての機能をさらに強化していく。</p>
<p>代表者：吉田静香</p>	<p>市民紙芝居・あさお</p>
	<p>紙芝居を通じて楽しく地域のコミュニケーションづくりを目指していきたい。昨年までは年に2回のイベント開催をしてきましたが、今回は、頻回に開催することにより、さらに地域の方々や参加者同士の交流を深めていき、誰もが安心して集える場所にしていきたいと考えています。</p> <p>また前回、チャレンジ紙芝居に参加された方々にとっても紙芝居を演じる場の一つになればと思います。</p>
<p>代表者：萩坂心一</p>	<p>かわさき民話を愛する会</p>
	<p>常々、子どもや若い世代に「平和の大切さ」をどのように伝えていったらいいか、頭を悩ませています。そんな中、川崎の民話作家・萩坂昇の作品群の中には「平和の大切さ」を伝える昔話が数多くあることに関心を抱いてきました。</p> <p>そこで、今回、川崎の民話・昔話を通じて「平和」を考える集いを企画しました。講演だけでなく、紙芝居、ギター漫談、語りなど、親しみやすいプログラムを揃え、新たな仲間を増やしていきたいと考えてます。麻生区金程在住の横田明子さんは、児童文学の世界では著名な方で、子ども目線で「平和の大切さ」をわかりやすく伝えていきます。「わかりやすさ」という点では、民話や昔話と共通する要素があるので、横田さんに存分に語っていただき、今後の本会の活動のヒントを得たいと考えております。そして、一番の目標は、二日目午前の企画「川崎の民話・昔話交流会」の充実で、子どもや若者を対象とし、今後の仲間づくりのきっかけにしたいと思っています。二日間のイベントの終了後、希望者を募り、民話の紙芝居づくりや人形作りなどに挑戦する機会を設けます。しかも単年度ではなく、次年度以降にもつながるように取り組みます。「かわさき民話を愛する会」の企画は、麻生区内では初めてですが、多くの皆さんと出会い、交流を深め、継続的な活動をしていきたいと願っています。</p>